



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月8日

上場会社名 株式会社フェリシモ 上場取引所 東
コード番号 3396 URL <https://www.felissimo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 和彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 宮本 孝一 TEL 078-325-5555
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	7,116	△1.9	△22	—	△41	—	△45	—
2025年2月期第1四半期	7,251	△6.9	△102	—	△1	—	△69	—

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 △64百万円 (—%) 2025年2月期第1四半期 △74百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	△6.41	—
2025年2月期第1四半期	△9.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	28,615	19,099	66.7
2025年2月期	28,889	19,271	66.7

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 19,099百万円 2025年2月期 19,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,789	3.8	10	—	64	300.0	50	—	7.13
通期	30,531	3.7	137	94.1	243	7.3	179	31.9	25.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	9,543,500株	2025年2月期	10,043,500株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	2,420,914株	2025年2月期	2,920,914株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	7,122,586株	2025年2月期1Q	7,122,586株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年3月1日から2025年5月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復が期待されました。しかしながら、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まったほか、物価上昇が個人消費に及ぼす影響等も、わが国の景気を下押しするリスクとなりました。また、金融資本市場の変動等の影響にも一層注意する必要があり、先行きは不透明な状況にありました。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、長期的視点から「顧客基盤の拡大」、「顧客との継続的な関係育成」、「第2の収益の柱の育成」の3点に注力し、持続的な成長基盤の確立を目指す取り組みを継続しております。2026年2月期は「成長軌道確立期」と位置づけ、更なる収益力の向上による増収増益を目指しております。

当第1四半期連結累計期間における概況におきましては、中核の定期便事業では、手づくり支援事業「Couturier（クチュリエ）」がSNSを起点とした注目度の高まりを受け、若年層の新規顧客が増加したことから、売上高が前年を大きく上回りました。一方で、定期便事業全体では購入単価は上昇したものの、のべ顧客数の減少により売上高は前年同期を下回りました。利益面では、ファッション商品を中心にサプライチェーンの見直しを進め、原価率の改善を図りました。

新規事業分野では、当社の顧客基盤を活用した広告プラットフォーム「CREATOR'S VOICE（クリエイターズボイス）」の運営を開始しました。また、取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS（フェリシモパートナーズ）」は、取扱商品数の増加と販売強化が奏功し、売上高が増加となりました。このほか、神戸ポートタワー事業におきましても、著名アーティストや各種コンテンツとのコラボレーション企画等が集客力の向上に繋がり、売上高が増加となりました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,116百万円（前年同期比1.9%減）となり、売上総利益は3,815百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、販売計画の見直し等により広告費が前年同期を下回り、3,837百万円（前年同期比2.5%減）となりましたが、売上高の減少が影響し、営業損失は22百万円（前年同期は営業損失102百万円）となりました。

営業外損益におきましては、為替差損等の営業外費用を51百万円計上した結果、経常損失は41百万円（前年同期は経常損失1百万円）となりました。税金等調整前四半期純損失は41百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失37百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は45百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失69百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ273百万円減少し、28,615百万円となりました。これは主に商品が365百万円増加したことに対し、現金及び預金が574百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ102百万円減少し、9,515百万円となりました。これは主に買掛金が135百万円及び賞与引当金が149百万円それぞれ増加したことに対し、電子記録債務が54百万円及び支払信託が385百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ171百万円減少し、19,099百万円となりました。これは主に自己株式が消却により489百万円減少したほか、利益剰余金が642百万円減少（自己株式の消却489百万円、利益剰余金の配当106百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上45百万円）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年4月8日に開示いたしました前回予想からの修正はありません。当第1四半期連結累計期間は、親会社株主に帰属する四半期純損失であります。現時点では当初の計画通り推移しております。今後の経営環境などの変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,511	8,937
売掛金	2,950	2,865
信託受益権	6	—
商品	4,515	4,880
貯蔵品	58	47
その他	481	499
貸倒引当金	△29	△30
流動資産合計	17,494	17,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,345	4,306
土地	1,950	1,950
その他（純額）	389	387
有形固定資産合計	6,684	6,644
無形固定資産	1,782	1,747
投資その他の資産		
投資有価証券	2,136	2,238
長期預金	500	500
繰延税金資産	46	45
その他	244	240
投資その他の資産合計	2,926	3,024
固定資産合計	11,394	11,415
資産合計	28,889	28,615
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,138	1,274
電子記録債務	3,045	2,991
支払信託	385	—
未払金	1,193	1,224
未払法人税等	56	19
賞与引当金	149	298
その他の引当金	79	83
その他	883	954
流動負債合計	6,932	6,846
固定負債		
退職給付に係る負債	2,389	2,374
その他	296	294
固定負債合計	2,686	2,669
負債合計	9,618	9,515

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	15,089	14,447
自己株式	△2,862	△2,372
株主資本合計	18,938	18,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	15
繰延ヘッジ損益	△11	△15
退職給付に係る調整累計額	330	314
その他の包括利益累計額合計	332	314
純資産合計	19,271	19,099
負債純資産合計	28,889	28,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	7,251	7,116
売上原価	3,418	3,301
売上総利益	3,833	3,815
販売費及び一般管理費	3,935	3,837
営業損失(△)	△102	△22
営業外収益		
受取利息	26	23
受取家賃	1	1
為替差益	65	—
その他	7	7
営業外収益合計	101	32
営業外費用		
為替差損	—	51
その他	0	0
営業外費用合計	0	51
経常損失(△)	△1	△41
特別損失		
投資有価証券評価損	31	—
関係会社株式評価損	4	—
特別損失合計	36	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△37	△41
法人税、住民税及び事業税	32	4
四半期純損失(△)	△69	△45
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69	△45

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純損失(△)	△69	△45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	1
繰延ヘッジ損益	1	△4
退職給付に係る調整額	△0	△16
その他の包括利益合計	△5	△18
四半期包括利益	△74	△64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74	△64

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年4月17日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を行うことを決議し、2025年5月29日付で自己株式を500,000株消却いたしました。

これにより、利益剰余金が489百万円、自己株式が489百万円それぞれ減少しております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	209百万円	215百万円